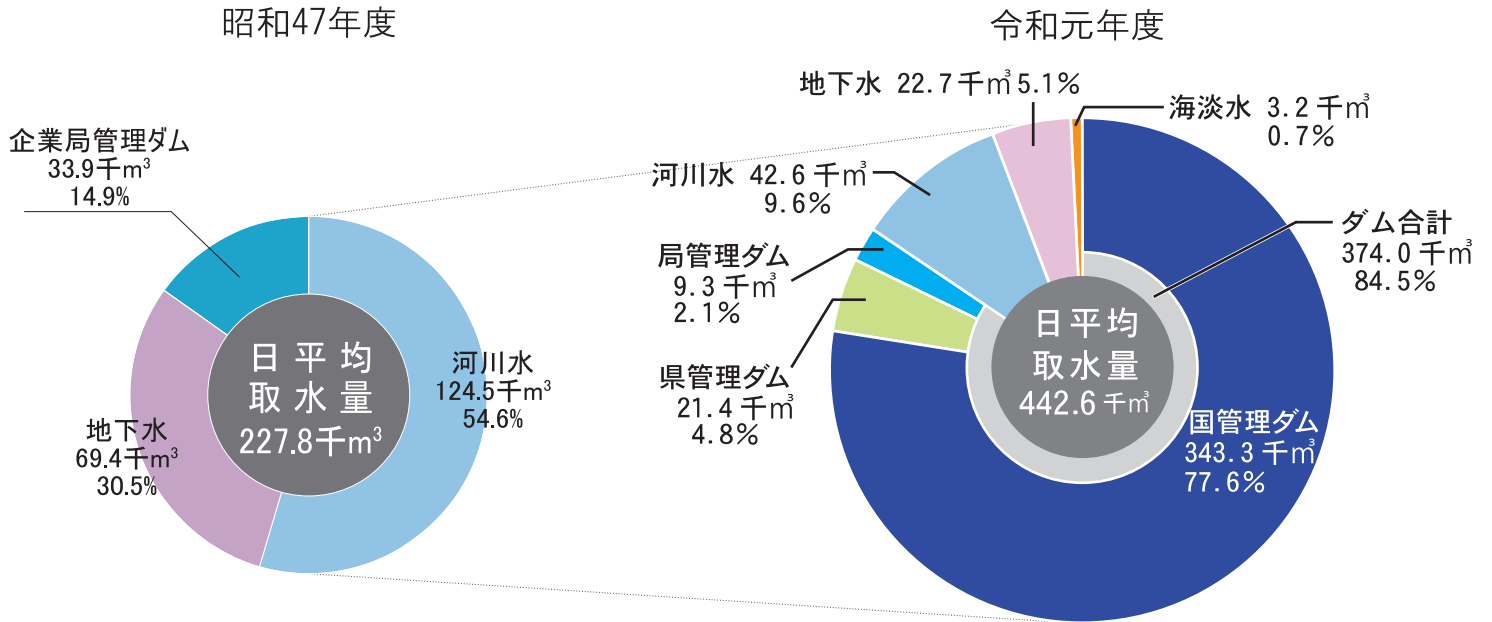


水源別取水量

企業局の水源は、ダム水・河川水・地下水・海水淡水化水の4種類です。

沖縄県が本土復帰した昭和47年度と令和元年度を比較すると、取水量は2倍に増え、水源別の取水割合も大きく変わっています。令和元年度は、約44万2,600m³の日平均取水量に対し、ダム水が約37万4,000m³（約84.5%）となり、その多くを占めています。



※ 数値は端数処理のため一致しない場合があります

市町村等別供給量

(単位: 千m³/年)

市町村名	項目	令和元年度供給量	構成比 (%)	給水開始年月日
那覇市		38,524	25.1%	昭和47年5月15日
沖縄市		19,610	12.8%	昭和47年5月15日
宜野湾市		10,766	7.0%	昭和47年5月15日
浦添市		14,111	9.2%	昭和47年5月15日
読谷村		4,929	3.2%	昭和47年5月15日
南部水道企業団		6,863	4.5%	昭和47年5月15日
嘉手納町		1,508	1.0%	昭和47年5月15日
北谷町		4,521	3.0%	昭和47年5月15日
北中城村		3,103	2.0%	昭和47年5月15日
豊見城市		6,742	4.4%	昭和47年5月15日
与那原町		2,072	1.4%	昭和47年5月15日
中城村		2,284	1.5%	昭和47年5月15日

市町村名	項目	令和元年度供給量	構成比 (%)	給水開始年月日
西原町		4,234	2.8%	昭和47年5月15日
名護市		2,040	1.3%	昭和47年5月15日
糸満市		6,854	4.5%	昭和47年5月15日
本部町		384	0.3%	昭和50年6月10日
今帰仁村		524	0.3%	昭和50年7月12日
伊江村		555	0.4%	昭和52年2月1日
恩納村		3,395	2.2%	昭和52年7月20日
金武町		1,542	1.0%	平成元年10月1日
うるま市		13,886	9.1%	昭和47年5月15日
南城市		4,721	3.1%	昭和47年5月15日
粟国村		84	0.1%	平成30年3月1日
北大東村		0	0.0%	令和2年3月30日
合計		153,252	100.0%	

注1) 南部水道企業団は、八重瀬町と南風原町により構成されています。
 注2) うるま市と南城市は、合併前の構成市町村の給水年月日を掲載しています。
 注3) 数値は端数処理のため一致しない場合があります。